

国際機関に興味がある人のために。

院進学から、国際機関での  
インターン、就職活動まで

総合図書館TA

国際公共政策研究科M2 栗山智帆

# 本日の内容

1. 大学院への進学を考える
2. 国際移住機関でのインターンの体験談
3. 就職活動を終えて
4. まとめ

# 大学院進学を考える

# 大学院ってどんなところ??

- 学部：受動的、幅広く**学ぶ**ことが目的。
- 大学院：能動的、専門を深めること、**研究**することが目的。
  
- 院試科目 → 外国語、専門試験、口頭試験、  
小論文、研究計画書 など
- 卒業要件 → 30単位 + **修士論文**  
= 論文として主査・副査に認められること。

# 文系大学院生の生活

## M1 のとき

- 学部の授業の少人数版を受ける。
- 英語の書籍・論文をひたすら読む。
- 論文を読んで議論する。
- 英語でプレゼンをする。

## M2 のとき

- **研究テーマ決め**
- 先行研究レビュー
- 情報収集&分析
- 修士論文を書く！

他にも・・・

- ☆学会発表、
- ☆研究調査、
- ☆インターン、
- ☆ティーチング・アシスタント
- ☆リサーチ・アシスタント

など。

# 大学院で得られるもの

- 能力

- 英語のリーディングスキル
- 英語のライティング、スピーキング、リスニングスキル（授業次第）
- 情報を調べる力、要約する力、発表する力（ゼミ）
- 一人で計画を立て、実行する力（修論）

- その他

- 専門家との人脈（学会等）
- 国際機関等のインターンの機会
- 海外経験
- 修士号

# 大学院に進学？それとも就職？

国連職員に求められる資質	修士	就職
Integrity (誠実)	△	
Professionalism (プロ意識)	◎	
Respect for Diversity	△	
Communication	△	
Teamwork	×	
Planning & Organizing	◎	
Accountability (説明責任)	×	
Creativity (積極的 pursuit)	◎	
Client Orientation (顧客の視点に立つ)	×	
Commitment to Continuous Learning (自らの能力を不断に磨く)	◎	
Technological Awareness (職務に有用な技術の理解と活用)	○	

## まとめ

- 大学院に進学すると、自分が好きなことを追求できる時間は得られる。
- 自由度が高い分、自分で計画し、実行しないと何も得られない。
- 将来的には、修士号も勤務経験も必要。



# 国際移住機関でのインターン体験談



# 国際機関へのインターンとは

- 大学院生の特権ともいえる、国際機関のインターン。
- 1か月～6か月程度の期間。
- 無給である場合が多いが、契約職員の扱い。
- 優秀な学生は、そのまま国際機関への就職も夢ではない。

# インターン合格までの道のり

M1の  
5月

- OSIPPの海外インターン助成に応募

6月

- OSIPP海外インターン助成金に合格

6-7月

- カバーレター、履歴書の作成

7-10  
月

- GLOCOLを通じてメールにて応募

10-11  
月

- 国連アウトリーチミッションに参加。  
日本事務所の職員に連絡

11月  
18日

- IOMから返信があり

GLOCOL海外  
インターンの  
授業を履修

# 応募のための準備

1. まず行き先の候補を決める。
2. HPなどで情報収集し、やりたいことを考える。
3. カバーレター、履歴書を書く（添削要）。
4. 行きたい場所に**直接**メールを送る。
5. 待つ&いろいろな人にコンタクトを取る。

☆参考ホームページ（日本語）

- ・国連フォーラム
- ・外務省国際機関人事センター



# インターン決定～渡航まで (約1か月)

- 授業との両立
- バイトの交代
- 下宿の片づけ
- 渡航準備



# インターンの業務

# 最初の2～3週間

キーボードの入力方法  
が分からない。。。。

何時に来て何時に帰れば  
いいの？

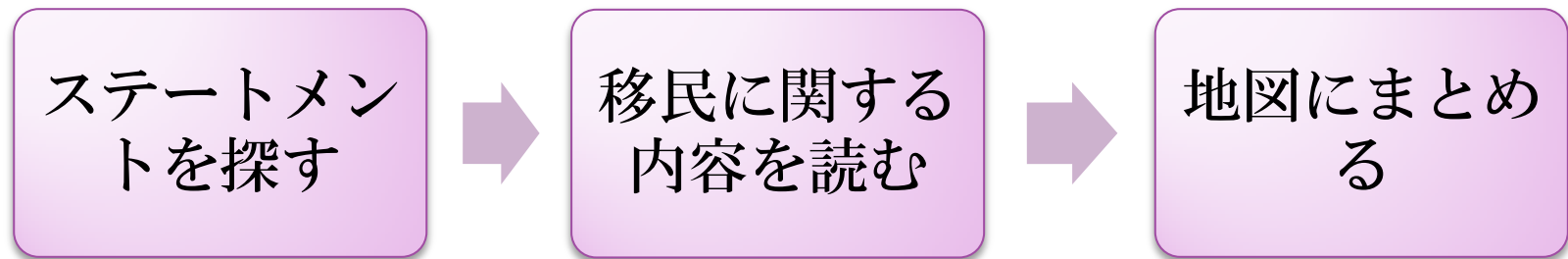
これは何のための資  
料??

この略語の意味は??

何したらいいんだ  
ろう・・・

# 仕事①：国際会議の情報収集

- スケジュール, Back ground paper, Concept note, Statement 等の Summaryを作成する。





## 仕事②：情報発信・その他補助業務

- Twitterの発信
- Intranetのアップデート
- Web meetingのアレンジメント
- 会議の資料作成
- プレゼンテーション資料作成
- 議事録作成

# 業務で苦勞したこと

1. いきなりの仕事。
2. 仕事がない。
3. 英語。
  - • • 特に、メール、議事録の作成、電話会議。
4. 略語(abbreviation)
5. PC操作
6. 提案や企画

# 業務を通して学んだこと

1. 国際機関のHP・Twitterを見ると勉強になる。
2. 職員には調べてから聞く。
3. 文章は真似をして書く。
4. インターンは勉強も仕事（会議への出席、内部資料の閲覧等）。
5. 自分にできることは積極的にやるとよい。

# 国際機関への就職は？

- 能力：正規職員として働くためには、
  - ① 英語＋仏語、
  - ② 1人で仕事をまわす能力
  - ③ 修士は当たり前、博士は普通。
- 方法：インターンから就職する人も多い。  
日本人は、JPOから。
- 雇用：最初は半年契約から。

# 就職活動

# 就職活動とは

この会社なら  
働いても  
良さそうだ。



この人なら会社の  
役に立ちそうだ。

# 全体のスケジュール

	3月上旬	3月下旬	4月上旬	4月下旬	5月上旬	5月下旬	6月上旬	6月下旬	7月上旬	7月下旬	
Intern	→										
Pre-entry	→										
説明会	→										
entry		→									
面接?			→								
修論			→								

# ① プレエントリー

- 説明会の案内や採用情報を受け取るために、受けたい企業に自分の情報を登録する。
- 方法：
  - ①リクナビやマイナビなどの就職サイトから。
  - ②各企業の採用HPから。
- ポイント：
  - ☆早めに、できるだけ多くしておく。
  - ☆ログインID・パスワードを記録しておく。
  - ☆自分の学歴や資格などをまとめておく。



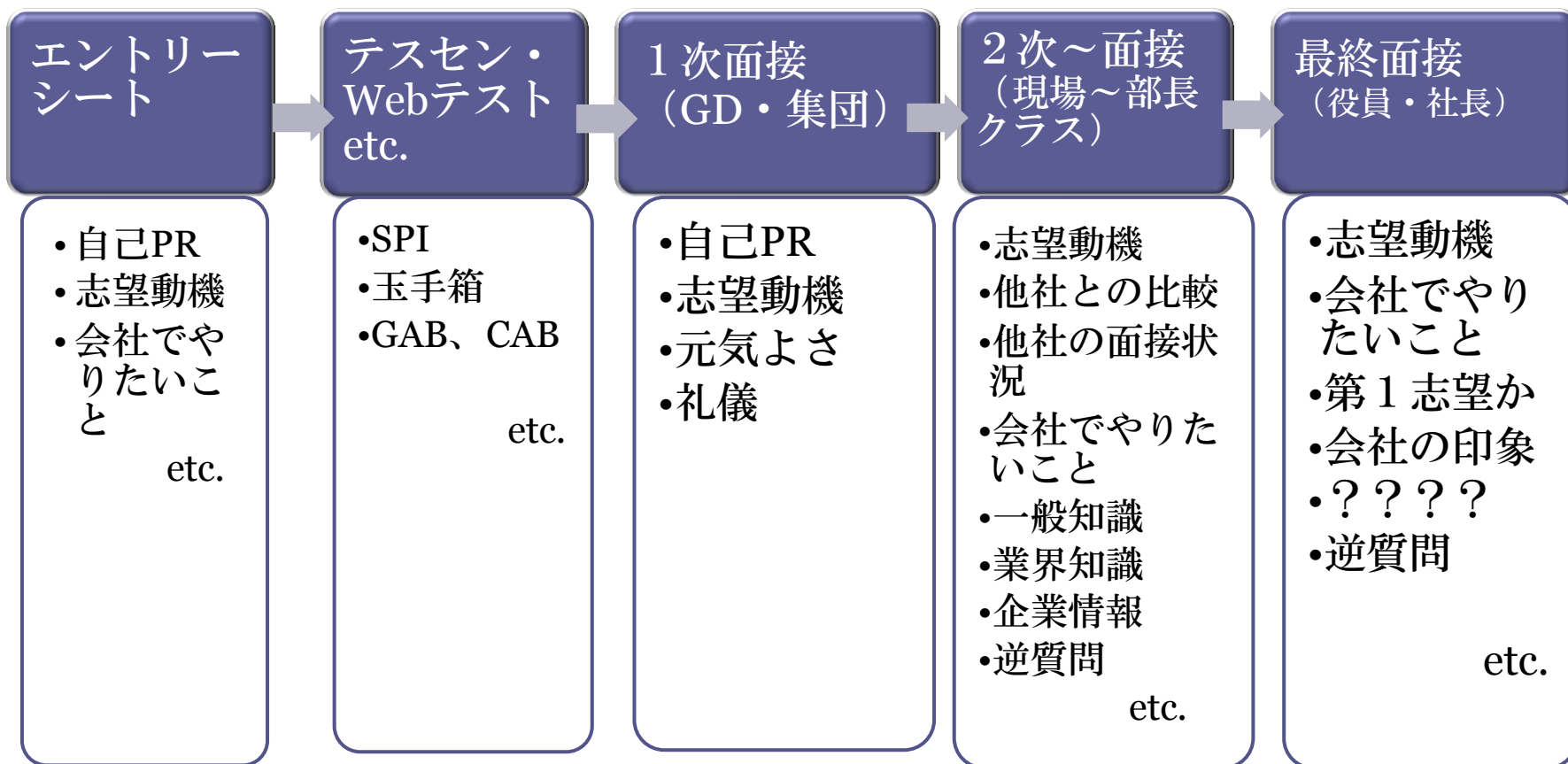
## ②エントリーすべき企業

- 試験・面接は、数をこなすと上達する。
- 本命を受ける前に、何社か受けるべき。

(例)

- ☆テストセンターを受けられる・足切りが高い企業
- ☆選考の開始が早い企業
- ☆リクルーターがつく企業
- ☆業界研究ができる企業
- ☆採用人数が多い企業

# 採用活動のステップ例



# 就職活動のオススメ本（定番）

- 『就職四季報』
- 『この業界・企業でこの「採用テスト」が使われている！』 SPIの会  
→テスト系は、SPIの会シリーズがオススメ
- 『面接の達人』 バイブル編
- 『絶対内定』 面接編・面接の質問編

☆本屋の就職活動コーナーに行って立ち読みする程度で大丈夫。

# どんな企業を受けるか？

## 一般的

- 親、先輩、OB訪問
- 就職セミナー、就職サイト
- 就職四季報、日経新聞、ビジネス雑誌等  
→ 図書館HPのデータベースからも。

## 国際系

- 先生、国連職員、NGO職員
- 先輩のキャリアを参考にする  
→ **国連フォーラムHP**
- 本や雑誌など  
→ 図書館キャリアコーナーにも。

## 国際協力に興味がある人が陥りやすい状況

- Aさん「貧困問題に興味あるんです！」  
→会社「うちは営利企業だからね。。。NGOとは違うんだよ。」
- Bさん「将来、国際機関で働くことが目標です！」  
→会社「（会社を踏み台にするつもりか）」
- Cさん「学生時代、社会貢献活動をしてました！」  
→会社「それが何？良いことしてるとでも思ってるの？」

# 逆求人サイトの活用

- 学生が自己PRを登録して、企業からのスカウトを待つもの
- 中小・ベンチャーが多い。
- 自分の興味に合う企業が見つかるかも。
  - Iroots
  - Offer box
  - Jobrass        etc.

# 就職活動を終えて

- 会社の名前で判断せず、会社の人と話すこと。
- 選択肢を増やすこと。
  - 中小～大企業
  - 業界
  - 職種
  - 公務員、進学
- 縁も大事。